第3期中期計画（2016-2020）

ITSによる安全・安心で活力ある社会を実現する統合的アプローチ

資料編

2016年5月

特定非営利活動法人 ITS Japan

実用化・普及の進展と新たな課題への挑戦

ファースト・ステージ（実用化の推進）	セカンド・ステージ（普及と社会還元加速）	次世代ITS（社会的課題への対応）

1996
関係5省庁

ＩＴＳ推進に関する全体構想

- ナビゲーションシステムの高度化
- 自動料金収受システム
- 安全運転の支援
- 交通管理の最適化
- 道路管理の効率化
- 公共交通の支援
- 商用車効率化
- 歩行者の支援
- 緊急車両の運行支援

1995
横浜 世界会議

2004
日本ITS推進会議

ＩＴＳ推進の指針

- 安全性向上
- 円滑化・環境負荷軽減
- 利便性向上
- 地域の活性化
- 基盤の整備と国際化

2004
名古屋 世界会議

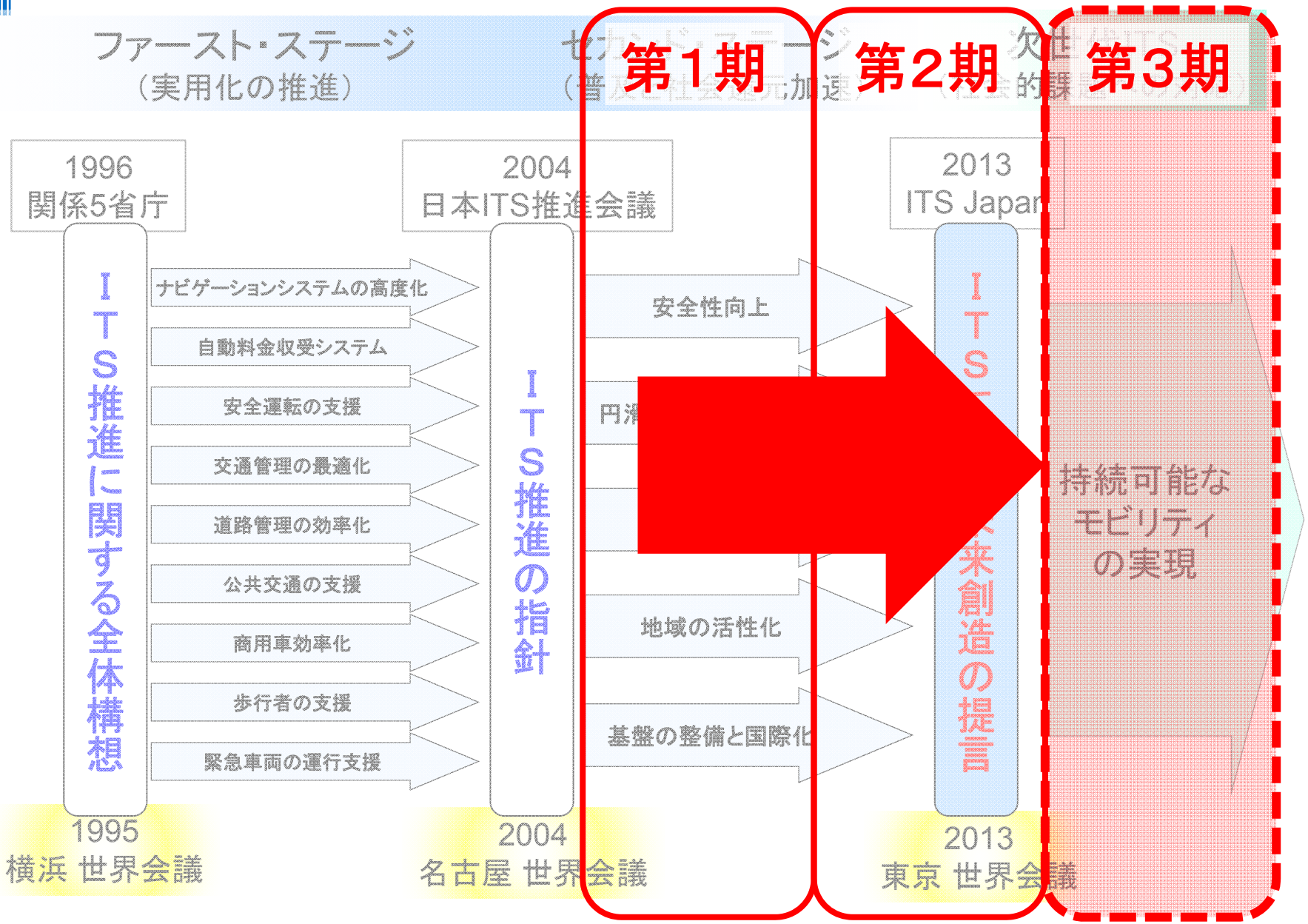
2013
ITS Japan

ＩＴＳによる未来創造の提言

持続可能な
モビリティ
の実現

2013
東京 世界会議

実用化・普及の進展と新たな課題への挑戦



技術革新と社会への波及

自動車の動力源の転換とエネルギー需給構造の変化

車のスマート・コミュニティへの接続
- 車が電力需給調整の役割を分担

世帯レベルでの分散発電によるエネルギー自給
- 個人の電力消費スタイルの変化

自動運転実用化への急速な展開

自律制御技術の成熟
- 環境認知、判断、制御の高度化と市販車両への搭載加速

自動運転を支える環境整備
- 走行環境のモデル化、クラウド型情報基盤、制度整備

移動通信ネットワークの高速化と日常生活への普及

参加型情報収集の仕組み（プローブ、twitter）
- 量の拡大、即応性、利用者視点のきめの細かい情報

新たなビジネスの創出（スマートフォンを利用したサービス）
- 情報インフラ・端末機器とサービスの分離

次世代ITSの担い手と連携・統合

「個」の潜在力の活用

情報ネットワーク化による個人の参加型情報収集

プローブ情報と公共データの相互補完 など

認識を共有した多数の個人が社会的課題の解決に貢献

エコドライブ、モーダルシフト、経路選択 など

個人の利益追求と公共目的が両立する仕組み

個人の行動が社会に与える影響を可視化し動機付け

組織横断の連携・統合力の向上

統合的グランドデザインと対策をブレークダウンし実行する体制

多様な事業を統合したサービスを提供する民間ビジネスモデルの構築

第3期中期計画（2016-2020）のアプローチ

1.価値創造やサービスの視点から 技術論へブレークダウン

- 技術的手段から論ずるのでなく、価値の創造や利用者にもたらすサービスから議論。
- 情報端末や自動車がコモディティ化し、それらを使いこなすための情報活用サービスが付加価値の支配的要素に。

2. 現場主義に基づき事例に立脚した具体論

- 技術指向でシステムを導入しても自治体や住民が求めている優先課題と乖離。
- 市民・自治体と一体となった将来像の共有と活動推進が必要。

3. 競争と協調の境界を新しい考え方で再構築

- 従来の事業分野に包含されていなかった多様な技術の統合的な組込みが必要。
  専門人材の確保や必要な投資を個々の企業が単独で行うことが困難な分野が拡大。
- 交通情報や高度デジタル地図などの基盤構築や端末機器の普及とデファクト化などは、個々の企業が単独で取り組むのは困難。

4. グローバルな協調を想定した国際連携

- 市場はグローバル化しており、海外企業を含めた国際競争力のある連携を構築。
- 技術や情報の基盤構築も、グローバルに共有し、標準化や基準調和につなぐ。

社会実装の現場

地域の類型化とその将来像 －新たな国土のグランドデザイン2050より－

時代の潮流と課題

(1) 急激な人口減少、少子化
(2) 異次元の高齢化の進展
(3) 都市間競争の激化など
　グローバリゼーションの進展
(4) 巨大災害の切迫、
　インフラの老朽化
(5) 食料・水・エネルギーの制約、
　地球環境問題
(6) ICTの劇的な進歩など
　技術革新の進展

①質の高いサービスの効率的提供

・人口減少下において、各種サービスを効率的に提供するために、コンパクト化
・ネットワーク化により、各種の都市機能に応じた圏域人口を確保

②新たな価値を創造

・コンパクト＋ネットワークにより、人・モノ・情報の高密度な交流を実現
・高密度な交流がイノベーションを創出
・地域の歴史・文化などを継承しつつ、「新しい集積」を形成

小さな拠点

社会を構成する**最小規模集落**として、その**持続が可能**であること

人口1万人規模の集落群
（全国に約5,000ヶ所）

小規模集落が散在する地域において、日常生活に不可欠な機能を歩いて動ける範囲に集め、**周辺集落とネットワークでつなぐ**

ICTを活用した遠隔医療・教育の実施や、地方公共団体・物流事業者・コンビニ等と連携した配達サービスの確保

高次都市連合

複数の地方都市等が連携して**一定規模の人口を確保**し、**高次都市機能を分担**

自動車で1時間圏内
人口30万人以上の
都市圏
（全国に60～70ヶ所）

都市機能や居住機能を都市の中心部等に誘導し、再整備と**公共交通ネットワークを再構築**

人口減少に歯止めをかけ、大都会からの人の流入を促進。

地域の多様性を生かし、新たな集積、価値、人の繋がりを創造

大都市

世界最大のスーパーメガリージョンを軸とした**国際戦略経済都市**

人口100万人規模の都市

大都市の国際競争力の強化

レジリエンス機能の強化

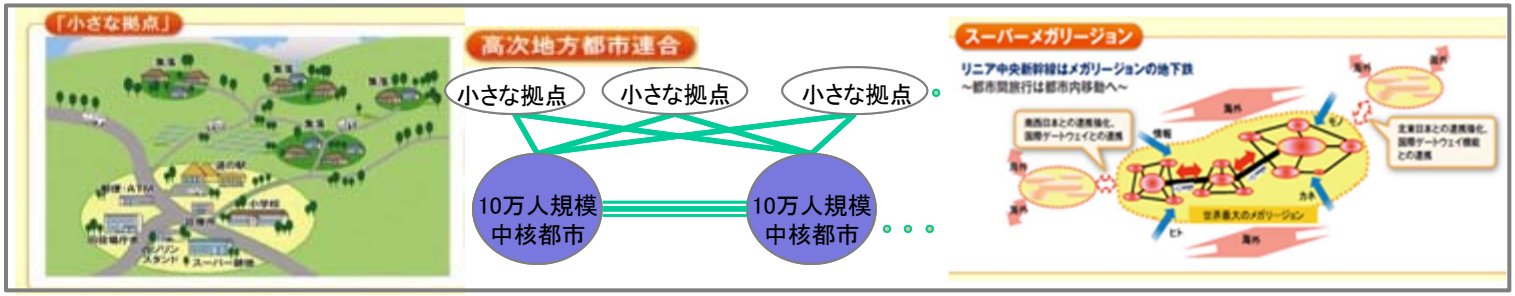
効率性を高め、**より一層筋肉質の都市構造へ**

国全体の人口減少に歯止

課題や対象の整理

ITSによる
未来創造の提言

国土のグランド
デザイン2050



整合性を確認

小さな拠点

高次都市連合

大都市

階層構造に基づく具体的テーマ抽出

社会実装の**現場**

重要な**価値**

提供される**交通サービス**

構築すべき**基盤**

実現のための**技術**

重要な価値

重要な価値

提供される交通サービス

構築すべき基盤

実現のための技術

社会的課題

社会実装の現場

	小さな拠点	高次都市連合	大都市
少子高齢化 ・社会活動参加の促進 ・暮しを支える移動の提供	**生活の基本確保** 公的サービスへのアクセス 生活必要物資の入手確保 中核都市アクセスのバリア解消	**多様な就労・居住** 高度公共サービス・遠隔就学・就労を支える移動 公共交通による移動手段の提供 情報提供による多様な交通手段の組み合わせ利用の利便性	**社会とのつながりを支える移動** 高齢者の社会活動参画支援 子育て世代の移動利便性 地下・高架への移動を伴わない公共交通
エネルギー・環境問題 ・効率的な移動 ・総合的なエネルギー需給	**エネルギーの入手** エネルギー（燃料）の入手性確保 再生可能エネルギーによる自給 電動車両による家庭内需給調整	**高いエネルギー効率** 動的情報利用、公共交通利用の増加による渋滞の解消 共同輸配送や委託によるCO_2削減 公共交通中心のマルチモーダルによる高いエネルギー効率	**エネルギー全体最適** 環境負荷・エネルギー消費を最小化する統合的最適化 エネルギー転換によるCO_2削減 参加型情報収集を活用した輸送管理によるCO_2削減
経済成長の鈍化 ・国際展開のための物流 ・地域を支える物流	**自活力の向上** 新たな産業集積を支える高効率な物資輸送 地域特産のグローバル展開を支える物流 オン・ディマンド運行、シェアリングなど財政的に持続可能な交通	**地方経済活性化** 産業集積を支える高効率な輸送 輸送時間の短縮とコスト低減による拠点配置の自由度拡大 地理的な制約を超えた2拠点居住	**国際的競争力** 地域の国際的な魅力の向上 利便性と鉄道並みの効率を両立した自動車による輸送 企業活動を支える高効率輸送
安全・安心 ・交通事故ゼロ ・レジリエンスを支える輸送	**自助、互助による安全** 高度運転支援や次世代バスによる高齢者の安全な自律移動支援 自主活動を支える情報共有	**広域連携** 高度運転支援や次世代バスなどによる高齢者の自律的移動支援 災害時の広域自治体連携	**高齢者、移動制約者の安全な移動** 多様性で安全な公共交通の提供と歩行空間の確保 帰宅困難者の支援
	救援・復旧のための物資の輸送	民間情報と公的情報の統合による情報共有基盤	災害時の通信手段の確保

提供される交通サービス

重要な価値

提供される
交通サービス

構築すべき
基盤

実現のための
技術

社会的課題

社会実装の現場

	小さな拠点	高次都市連合	大都市
少子高齢化	・多様な運行方式の公共交通（オンディマンドバス、乗合タクシー） ・自律型と協調型が融合した運転支援 ・小型モビリィテーによる自立的移動 ・自動運転技術を活用した公共交通による高度なアクセシビリティ	・中核都市間の中量輸送と小さな拠点を結ぶ地域輸送の効率的総合運用 ・公的機関のデータと民間データの相互利用による最適交通モード組合せ（所要時間、費用、利便性） ・遠隔診療と地域拠点総合病院への通院を組み合わせた地域包括ケア	・交通制約者の社会参加促進のためのアクセシビリティが優れた地上レベルの公共交通 ・子育て世代の移動支援のための小型電動自動車の共同利用 ・多様なニーズ（年齢、目的、身体状態、国籍）に応じた移動案内
エネルギー・環境問題	・電動車両とインフラ双方向の小規模電力取引を活用した家庭・地域の電力需給調整 ・到着希望時刻に合わせた最適交通モード組合せの提示	・公共交通への需要シフトのため安定した速達性を確保したバス運行 ・市街地の信号系統制御と信号情報利用協調型システムによる交通円滑化 ・積載率向上のための貨物の大括り化（3PL: Third Party Logistics など）	・高速道路網の広域経路選択案内と動的料金施策による交通分散 ・小口多頻度配送の共同配送化 ・消費者の参加型需給バランス調整 ・大量輸送機関の回生エネルギー活用
経済成長の鈍化	・商流と融合した物流網の運用 ・輸送効率と周辺環境影響最小化が両立する総合的走行経路管理 ・ネットワーク社会の購買行動に対応した流通サービス ・物と人の輸送の一体化	・広域連携による産業拠点化のための物流情報の共用基盤と共同輸送 ・高度運転支援／自動運転技術を活用した幹線輸送路における隊列走行 ・ネットショッピングと融合した地域物産の販路拡大	・グローバルなサプライチェーンの最適化を支える物流情報の標準化と海運・航空と融合したマルチモーダル輸送 ・国際ビジネス拠点を支える国際旅客・高速鉄道・自動車交通の融合と情報提供 ・魅力的な生活空間と交通の一体化
安全・安心	・コミュニティーの自助・互助と行政施策との連携を支える情報共有 ・民間サービスによる公共サービスの補完のための情報プラットフォーム（地域ITS情報センター） ・オンディマンドバスや乗合タクシーをシームレスにつないだ総合的モビリティ	・交通事故や危険事象の電子的情報収集・オープン化と分析・対策立案支援 ・GISを活用した災害情報共有による災害対応の都市間連携支援と代替輸送ルート確保 ・住民の主体的避難行動を支える情報提供と合理的判断の基礎となるリスク・コミュニケーション支援	・歩行者・自転車に対応した安全運転支援機能を備えた車両の普及 ・社会的孤立を防ぐための、コミュニティの再構築のためのプライバシーを確保した見守り支援 ・大規模災害の帰宅困難者の安全な待機と円滑な輸送回復のための案内

構築すべき基盤

重要な価値

提供される
交通サービス

構築すべき
基盤

実現のための
技術

社会的課題 ＼ 社会実装の現場	小さな拠点	高次都市連合	大都市
少子高齢化	情報共有 収集、分析、蓄積、共有 通信基盤 協調型、公衆回線 走行空間モデル化 ダイナミック・マップ、衛星測位、屋内測位 セキュリティ 認証、データ保護、プライバシー 社会的仕組み作り 制度、基準・評価、標準化、互換性 ビジネスモデル		
エネルギー・環境問題			
経済成長の鈍化			
安全・安心			

実現のための技術

重要な価値

提供される
交通サービス

構築すべき
基盤

実現のための
技術

社会的課題

	社会実装の現場		
	小さな拠点	高次都市連合	大都市
少子高齢化 エネルギー・環境問題 経済成長の鈍化 安全・安心	輸送車両 車両制御、電動自動車、公共交通、遠隔モニタ 情報処理 移動体通信、データ収集（プローブ、IoT） クラウド、セキュリティ、ビッグデータ分析 交通マネッジメント 交通管制、公共交通運行管理、輸配送 都市計画 シミュレーション（交通、災害） 社会影響評価（安全、環境、経済、生活） 行動分析・支援 運転行動、交通手段選択、歩行者支援		

取り組みテーマ

テーマ１：多様性に対応した新たな交通手段の実現

－ハード・ソフト（運用）両面から新たな移動手段の提供　－

－地域特性・特色を考慮した、最適ソリューション導出　－

－都市・地域のモビリティーを支える基盤の要件整理－

テーマ２：情報利活用のための基盤づくり

－交通系データの収集・共有・利活用の仕組み－

－システムの試作と実証実験－

テーマ３：多様な地域の実情に合ったITSの社会実装

－地域社会と一体になったITSの活用－

－国際展開－

テーマ１　多様性に対応した新たな交通手段の実現

- ハード・ソフト（運用）両面から新たな移動手段の提供
  - 自動運転、BRT、PMVなど新たな手段
  - オンデマンド、シェアリングなど新たな運用形態
  - 電動車両と需給管理との一体的なエネルギーマネージメント
  - Big Dataを活用した人とモノの移動の正確な把握と最適化

- 地域特性・特色を考慮した、最適ソリューション導出
  - 交通システムの変革がもたらす効果・価値を測る指標づくり
  - 多様な移動手段を効果的に組み合わせた街づくり手法

- 都市・地域のモビリティーを支える基盤の要件整理
  （テーマ2と連携）

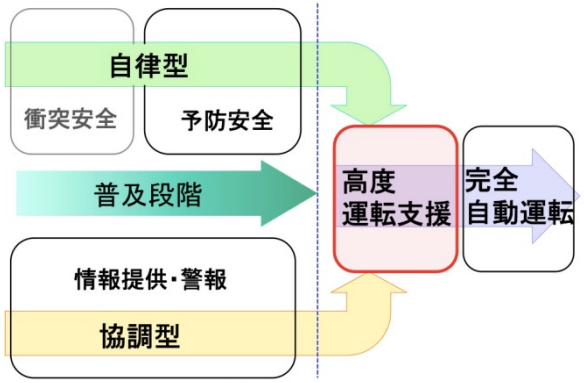
テーマ１

協調型運転支援システムの発展

ITS Green Safety委員会

ITS Green Safety Showcase
（ITS世界会議東京2013）

ETC民間利用実用化検証
（お台場　ビーナスフォート）



協調型から自動運転へ

車車間協調型システム
（トヨタ自動車）

テーマ１

自動運転技術の適用

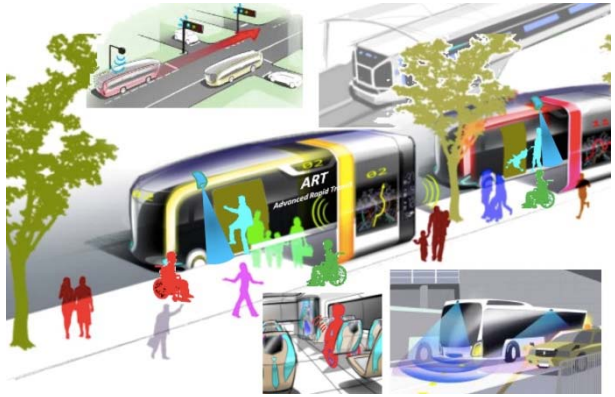
自動運転研究会、SIP自動走行システム推進委員会への参画

- 高度運転支援・自動運転

- トラック隊列走行

- パーソナル・モビリティ

- 次世代都市・地方交通

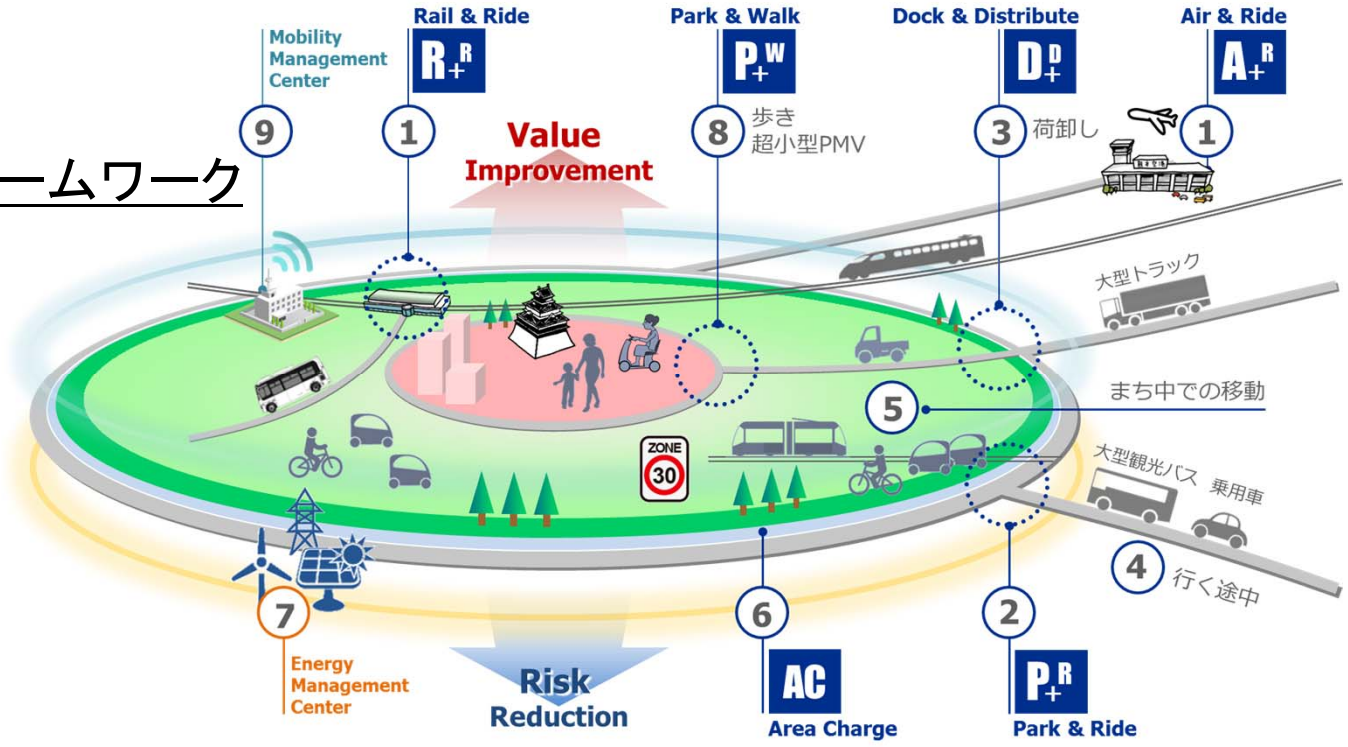


テーマ１　地域特性を考慮した最適ソリューション

ITSによるスマートコミュニテイ実現委員会

➢ 多様な移動手段を効果的に組み合わせた街づくり手法

9つのフレームワーク



➢ 交通システムの変革がもたらす効果・価値を測る指標づくり

評価指標の体系化、ウォーカビリティ、Social Impact Bond など

テーマ２

情報利活用のための基盤づくり

➢ 交通系データの収集・共有・利活用の仕組み

- 道路交通や公共交通に関する
  公的データと民間データの相互補完
- 異種データを融合した分析による高付加価値サービス
- 高精度地図と動的データが融合したデータベースの構築
- 準天頂衛星による高精度測位と新たなサービスへの活用
- セキュリティ、プライバシーを保護する技術と社会的枠組み
- 自動運転や新たな運用形態を支える環境整備（制度、保険など）

➢ システムの試作と実証実験

- 小規模プロトタイプによる検証
- 自治体や地域の企業、市民と協働した実証実験（テーマ3へ展開）
- 持続的な基盤づくりのビジネスモデル構築

テーマ２ 民間プローブを集約した通行実績情報の発信

プローブ共通基盤分科会

東日本大震災での提供

地図：Google

大型車への拡大

地図：国土地理院

協力者の拡大

本田技研工業
パイオニア
トヨタ自動車
日産自動車
富士通
いすゞ自動車
ボルボ（UDトラックス）

自動発信システム構築

- ITS Japanでシステム構築し運用
- 地震は気象庁システムと連動して自動起動（震度6弱以上、首都圏は5強以上）
- それ以外の災害は、政府災害対策本部設置時に手動起動

総務省消防庁への提供

- 覚書に基づく公的機関への情報提供

『消防庁初動対応支援ツールへの災害時通行実績情報の提供に関する申合書』

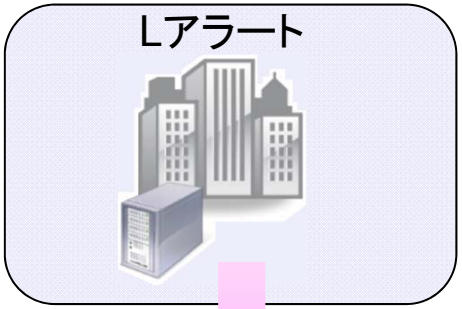
テーマ２

静岡県での防災訓練で実証実験

災害時/平常時HBシステム検討WG

自治体オープンデータ

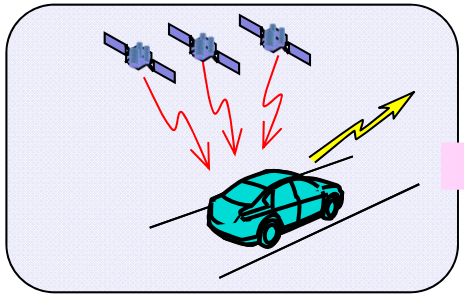
国：公共情報コモンズ



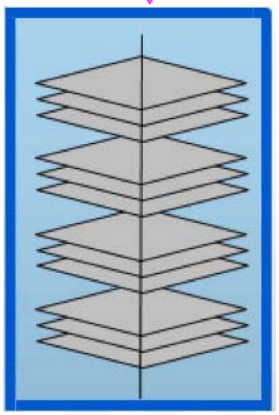
市民への情報提供

カーナビ情報提供
（本田技研工業）

民間データ



（ パイオニア、
アジア航測、
ウェザーニュース ）



災害情報共有プラットホーム
（富士通）

スマートホン情報提供
（富士通）

自動走行システムに必要な技術

クルマ；自動走行システム

センサー

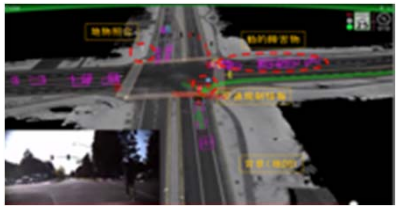
人工知能

アクチュエーター

HMI

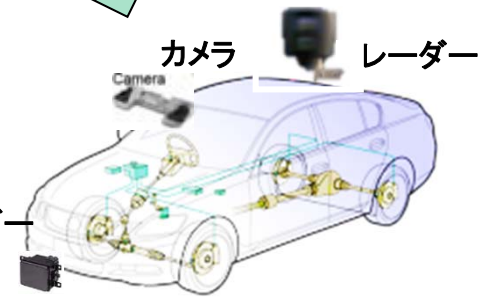
人との協調

HMI :Human Machine Interface

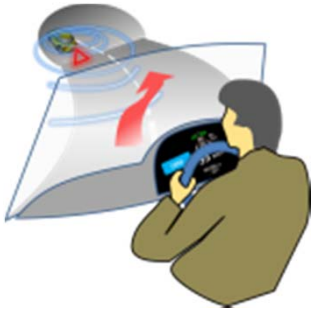


高精細なデジタル地図

GPS



自律（車載）センサー



安全・円滑を確保する
インターフェース

ITS先読み情報

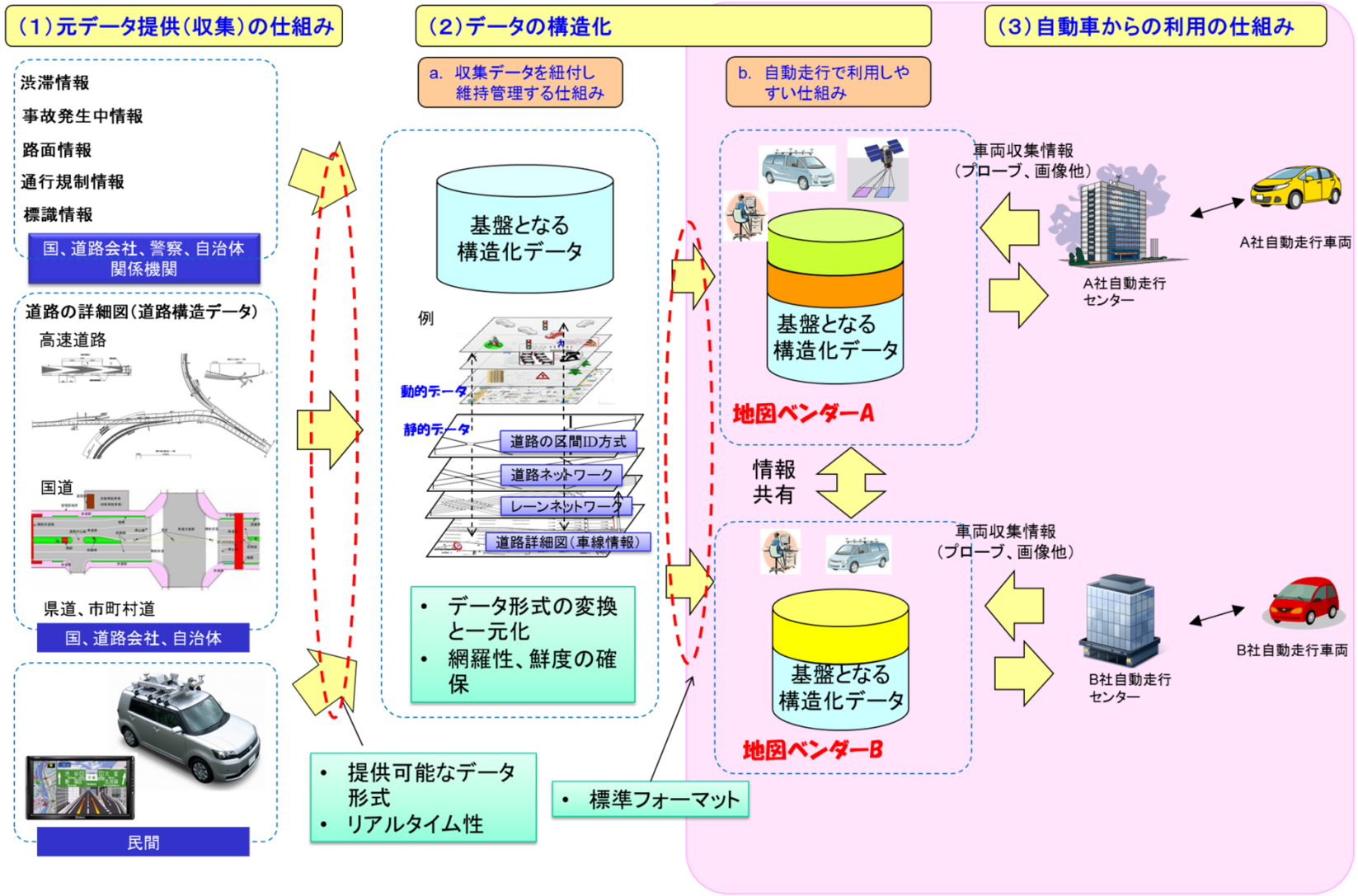
基盤技術

セキュリティ、シミュレーション、データベース　etc.

出典：戦略的イノベーション創造プログラム 自動走行システム推進委員会

テーマ２　自動運転の基盤：ダイナミックマップ

社会基盤データ利活用委員会、次世代ITS移動空間情報検討会

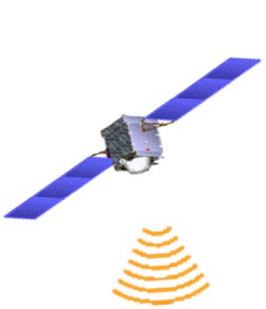


出典：戦略的イノベーション創造プログラム 自動走行システム推進委員会

多種の測位衛星（GNSS）の活用

準天頂衛星・マルチGNSS利活用検討会

GNSS: Global Navigation Satellite System



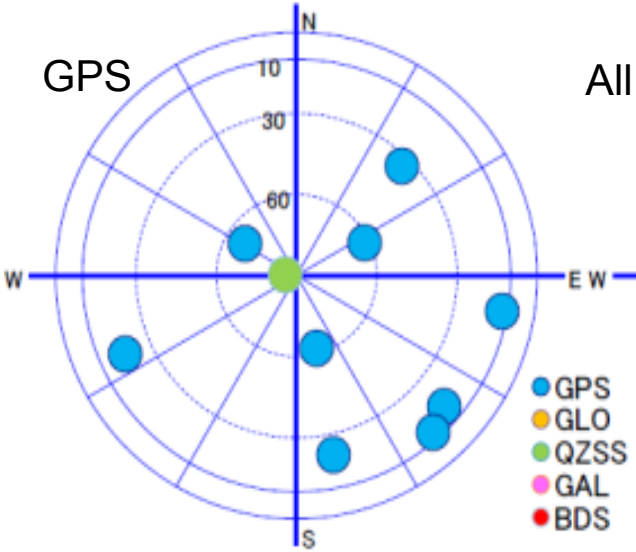
GPS
米国

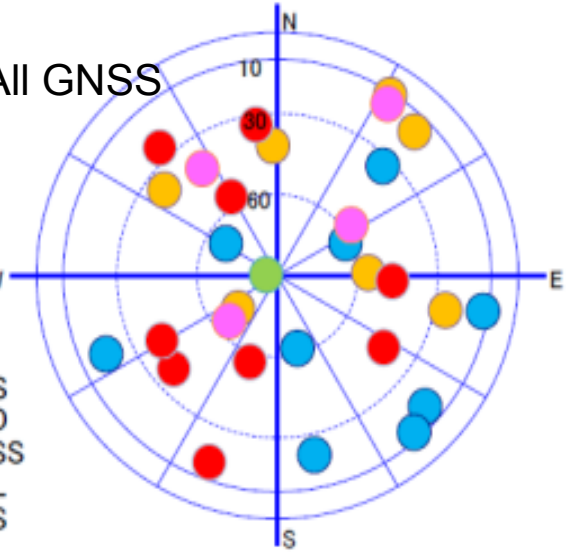
QZSS
日本

Glonass
ロシア

Galileo
欧州

BeiDou
中国





Satellites over Tokyo on September 30, 2013 at 18:20

テーマ３ 多様な地域の実情に合ったITSの社会実装

➢ 地域社会と一体になったITSの活用

- 基礎自治体の地域課題解決の取り組への参画
- 地域の実情に沿った交通施策をITSで支援（テーマ1の成果活用）
- 自治体や地域の企業、市民の主体的活動と
  国レベルの基盤との融合（テーマ2の成果活用）
- 会員企業の積極参画と協業による新事業分野の創出

➢ 国際展開

- 海外動向の情報収集と共有
- 国際機関と連携した交流活動と海外支援プロジェクトへの参画
- 人材育成や国際協業を促進する海外組織との連携

テーマ３

ITS地域交流会（2012～2015年度）

青森市　2012年 9月14日

自然災害リスクにも目配りされた地域交通の在り方

青森県企画政策部
東北運輸局企画観光部交通企画課
八戸市都市整備部都市政策課
青森ITSクラブ

高知市　2012年11月 6日

地域の公共交通課題への取組み

横浜国立大学　中村文彦教授
名古屋大学　加藤博和准教授
イーグルバス　谷島賢社長
高知工科大学　熊谷靖彦教授
高知県交通運輸政策課
高知市交通政策課

熊本市　2013年7月31日

交通まちづくりとITS / ICTの利用を考える

熊本大学　溝上章志教授
計量計画研究所　森尾淳主任研究員
長洲町まちづくり課
松山市都市整備部都市政策課
国立熊本高専　橋本淳也准教授
ITSアライアンス　若山裕一社長

富山市　2014年 8月19日

地域が目指すまちづくりに、進化するITSやクルマの活用を考える

富山大学　武山良三教授
日本自動車研究所　青木啓二主席研究員
塩尻市協働企画部情報推進課
富山県立大学　榊原一紀准教授
でんき宇奈月プロジェクト
大橋聡司代表理事

仙台市　2014年12月5日

地域の公共交通課題への取組み

自動車ジャーナリスト　両角岳彦氏
工藤電機　工藤治夫社長
OPEN JAPAN　吉澤武彦代表
フォルテNEXT　葛西純取締役
東北大学　鈴木高宏教授

広島市　2015年 9月18日

交通の利便性向上による街や地域の活性化を考える

内閣官房情報通信技術総合戦略室
広島大学　藤原章正教授
地域公共交通総合研究所
小嶋光信理事長
島根県立大学　藤山浩教授
岡山大学　三村聡教授

札幌市　2015年12月5日

街や地域が持続的に発展・活性化する交通まちづくりを考える

北海道大学　田村亨教授
室蘭工業大学　有村幹治准教授
新ひだか町立静内病院　小松幹志院長
ビーティス　高野元社長
エコ・モビリティ　サッポロ
栗田敬子代表理事

テーマ３　ITS チャレンジ：地域ベンチャー発の取組み

ITS Japan

ITSチャレンジ検討会

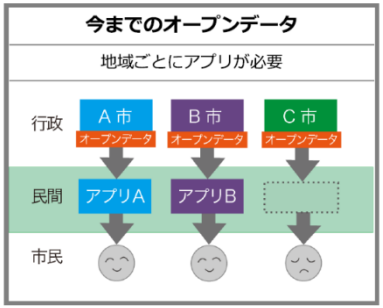
例）福井県鯖江市

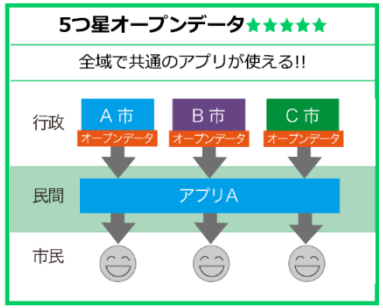
①アプリ開発・提供

『1日1創』を信条として取り組む

http://www.city.sabae.fukui.jp/users/tutujibus/route/route-index.html

②技術開発・標準化





http://odp.jig.jp/

④活動枠の拡大・仲間づくり

全国ネット推進団体：Code for X

odp アプリ開発者向けサイト

アプリ開発者のための情報サイトです。
odpで公開されたオープンデータの利用方法や
SPARQL API仕様、サンプルコードなど情報を発信します。

オープンデータの技術レベル※1
Level4（最高）をすべて満たしています!!

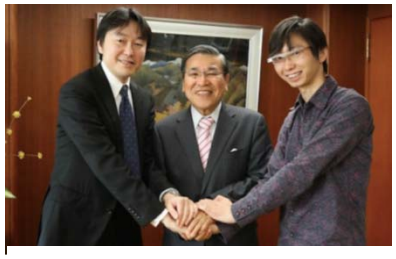
- RDFの技術を導入したデータを、APIで公開している
- SPARQLを利用したメタデータ検索機能がある
- Webサーバ ＋ データカタログシステム ＋ 情報流通連携基盤等
- グローバルな体系に基づく識別子を利用している

W3C = **World Wide Web Consortium**

（技術標準化推進団体）

⑤事業展開・連携

jig.jp x Sabae x SAP



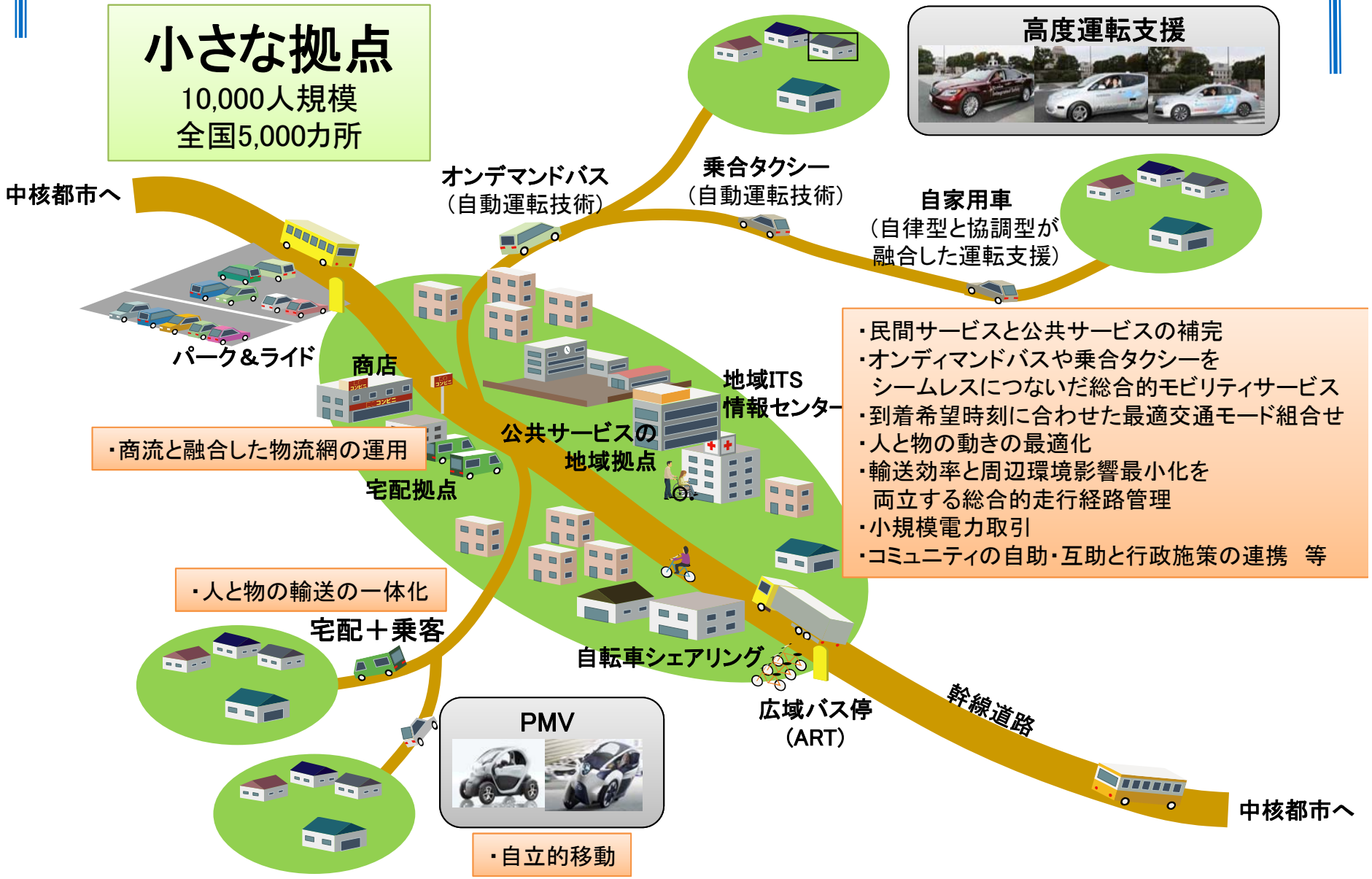
jig.jp x Sabae x Amazon

③世界標準活動

SABAE CITY 鯖江市 www.city.sabae.fukui.jp/ x W3C®

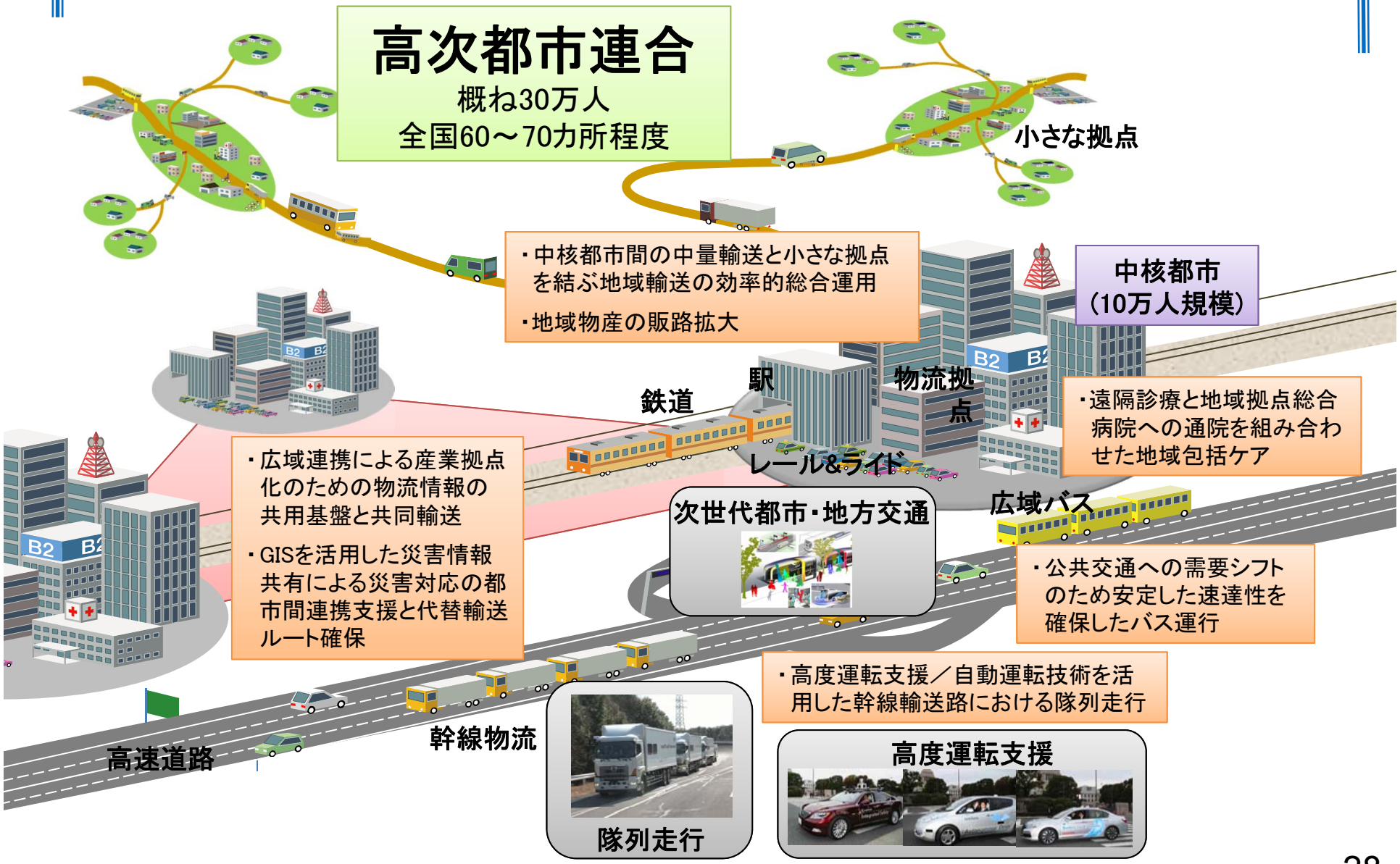
テーマ３

小さな拠点での実装（イメージ）



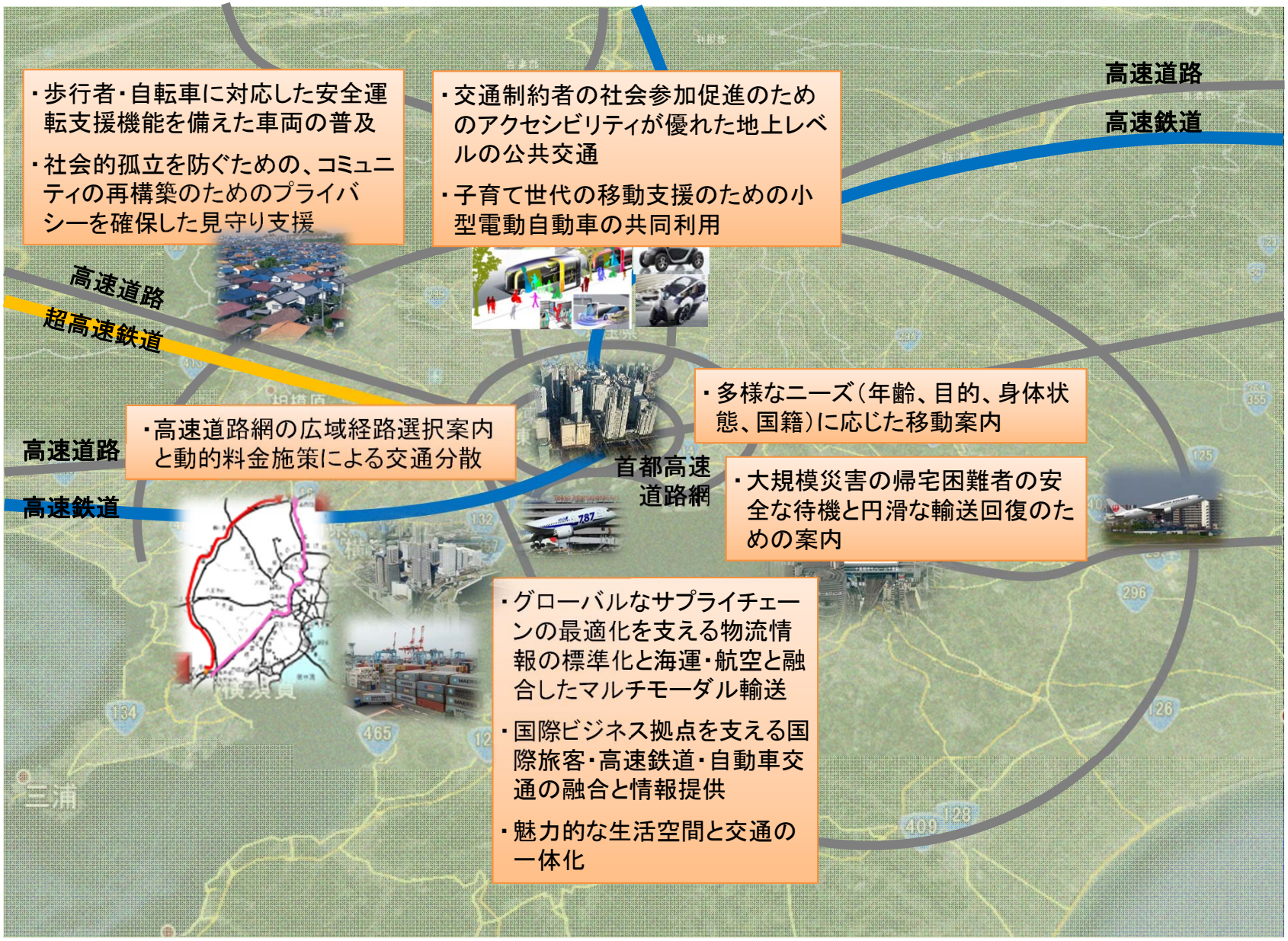
テーマ３

地方連合都市での実装（イメージ）



テーマ３

大都市での実装（イメージ）



テーマ３

海外の多様な交通事情

テーマ３

国際展開

➢ 国際協力機構（JICA）ITS国際展開支援との連携

現地開催フォーラム参加（マレーシア）

研修生受入（高官、実務）

➢ ITS Japan会員による国際交流

現地交流会（ベトナム）

留学生との交流

取組対象の全体像

全体調整　テーマ間の方向性調整　全体像のイメージ化と発信　実証・実装の企画

テーマ1

多様性に対応した新たな交通手段の実現

モビリティーマネージメント　新たな交通手段や運行形態による交通体系構築と総合的な街づくり

- 協調型運転支援
- 移動とエネルギー・マネッジメント
- 街全体の交通体系
- 交通弱者対応
- 自動運転の基盤・応用
- 災害情報提供

テーマ2

情報利活用のための基盤づくり

ITS関連基盤　新たなITSサービス実現に向けた社会基盤の構築と社会的価値の可視化

- ITS関連情報利活用
- 地図情報基盤実現・活用
- 衛星測位利活用

技術基盤（情報・通信）

社会基盤（制度、責任、保険など）

公的データのオープン化

民間データの流通促進

テーマ3

多様な地域の実情に合ったITSの実装

社会実装（実証実験）　ITS推進団体、基礎自治体との連携強化による実証と社会実装

- 基礎自治体との連携
- ITS実装のガイドライン
- 情報共有海外展開

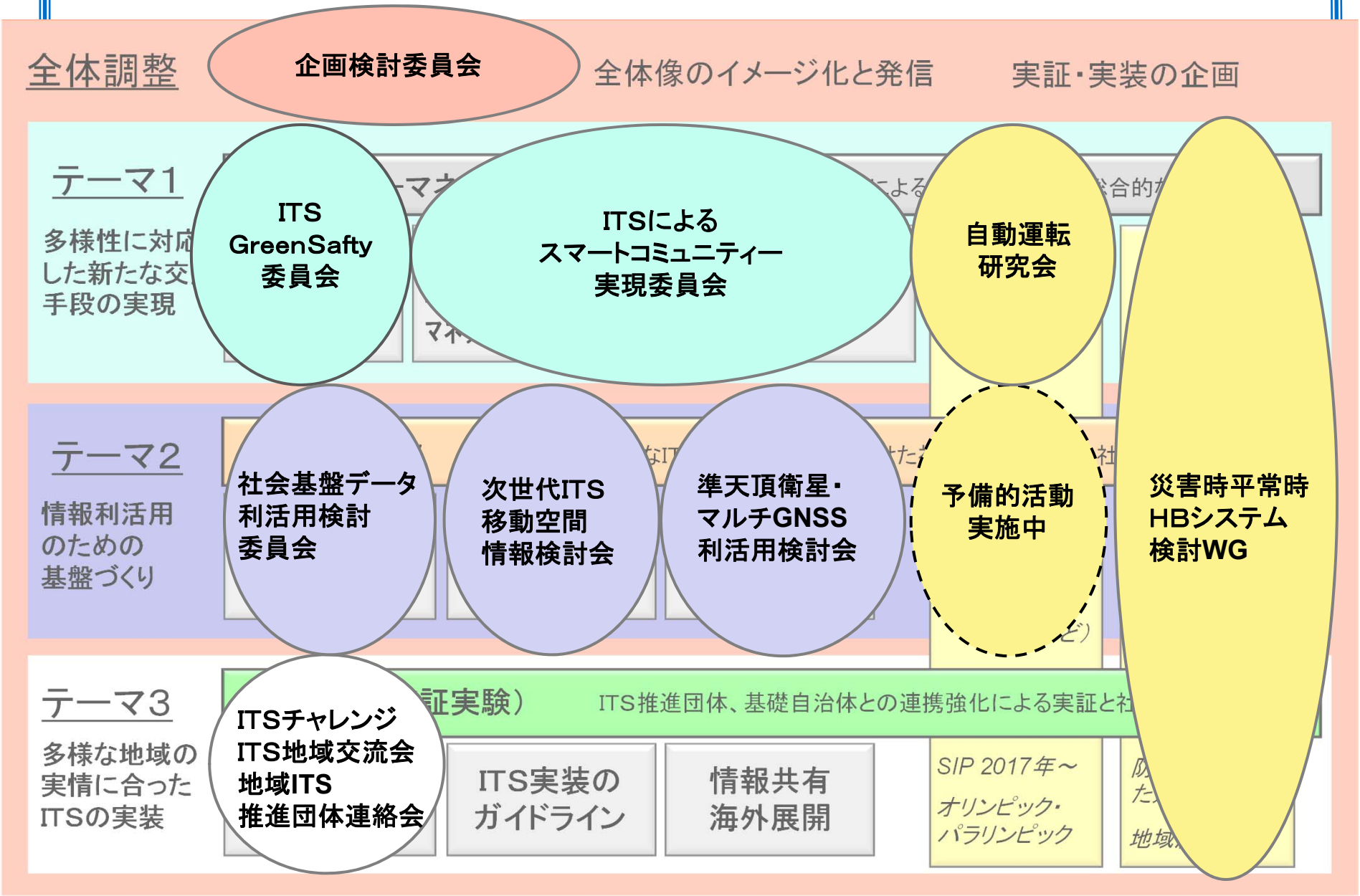
SIP 2017年～

オリンピック・パラリンピック

防災訓練を通じた運用確立

地域展開

既存の活動との関連


全体調整
企画検討委員会
全体像のイメージ化と発信
実証・実装の企画
テーマ1
多様性に対応した新たな交通手段の実現
ITS GreenSafty 委員会
ITSによる スマートコミュニティー 実現委員会
自動運転 研究会
テーマ2
情報利活用のための基盤づくり
社会基盤データ 利活用検討 委員会
次世代ITS 移動空間 情報検討会
準天頂衛星・ マルチGNSS 利活用検討会
予備的活動 実施中
災害時平常時 HBシステム 検討WG
テーマ3
多様な地域の実情に合ったITSの実装
ITS推進団体、基礎自治体との連携強化による実証と社
ITSチャレンジ
ITS地域交流会
地域ITS 推進団体連絡会
ITS実装の ガイドライン
情報共有 海外展開
SIP 2017年～
オリンピック・ パラリンピック

ITS Japanの役割の変遷

ファースト・ステージ

中央省庁のITS全体構想実現に向けた民間活動の推進

交通領域

・横浜ITS世界会議の受皿組織としてVERTI発足。

・5省庁策定の「ITS全体構想」の実用化に向け、民間企業が業界横断で官民連携の場を提供。

1) 省庁が公共事業として設置するインフラ設備

2) 利用者が購入する車載機器、

3) 情報基盤の提供とサービス提供を行う組織 の設立と運営

を三位一体で行う官民連携が進展し、世界に先駆けで実用化。

セカンド・ステージ

交通課題解決のための民間からの積極提案と主体的行動

交通領域

・情報通信や電子制御技術の交通分野での活用から、目的指向の統合的取組に転換。

・積極的に民間提案を行い、以下のプロジェクトに参画。

1) 協調型の運転支援システム「ITS Safety 2010」大規模実証実験および公開デモ。

2) 社会還元加速プロジェクト「世界一安全で効率的な道路交通社会の実現」
常任理事会直轄の「新交通物流特別委員会」を設置、産業界が一体となって推進。

第3期中期計画

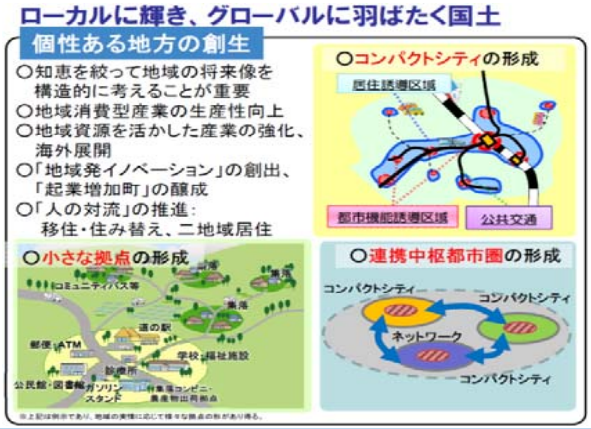
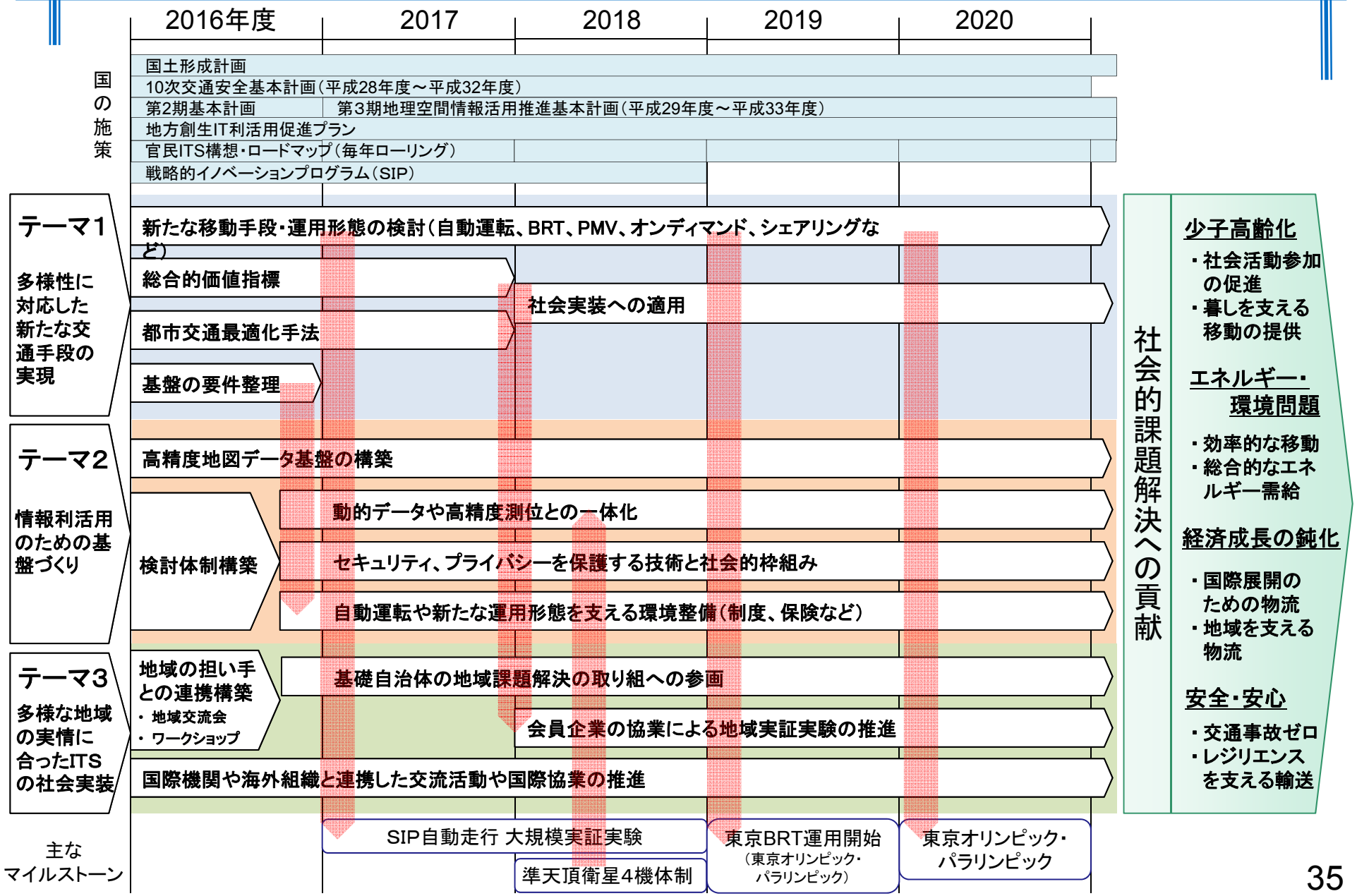
社会的課題の解決に向けた交通と街づくりのファシリテーター交通と街づくり

・「ITSによる未来創造の提言」で描いた社会課題の克服に資するモビリティの実現を牽引。

・これまで築いてきた産官学との繋がりを生かし連携をリード。

・新たなプレーヤーを取り込み、多様な組織が連携してそれぞれの力を発揮するためにファシリテーターとしての役割を果たす。

・活動の成果グローバルに展開。



第3期中期計画ロードマップ（案）